

マイボイスの録音に臨む方へ 「単文」登録ガイド

マイボイスは、「あ」「い」「う」…という声の組み合わせで、新しい文を読ませます。

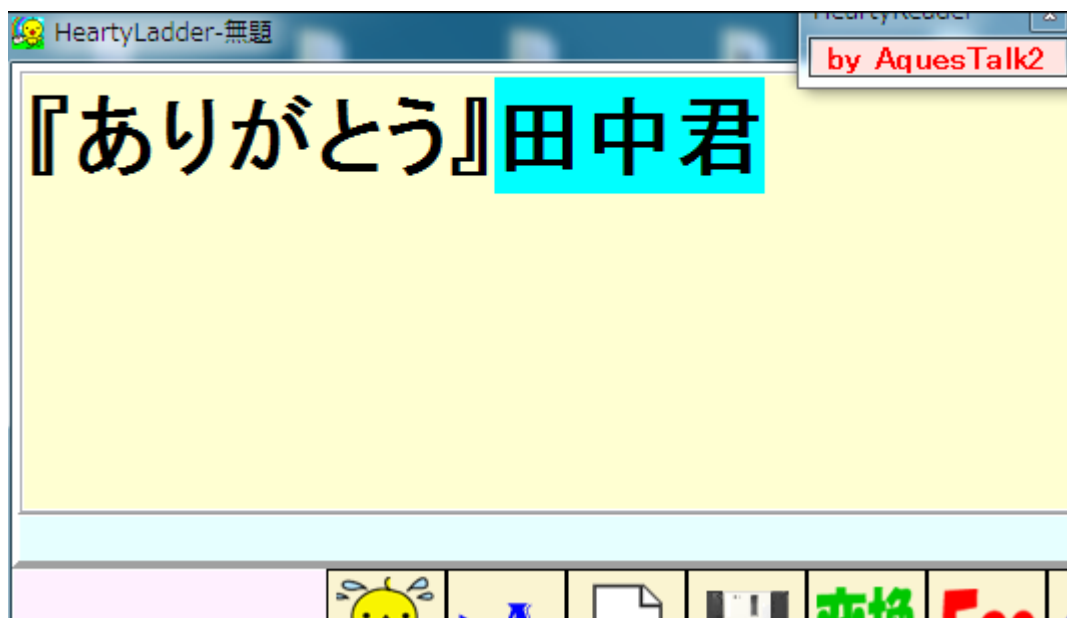
一方、「こんにちは」「ありがとう」などの単語単位で録音したものは、そのファイルがそのまま使われます。

そこで、単語や短い文（両方をあわせて以下「単文」と記します）単位で録音しておく、それがそのまま使われますので、単語や文の、まとまった強弱やイントネーションも表現できます。

例)「あ」「い」「う」で作る「あ」「り」「が」「と」「ー」は、やや単調な読みあげ
「ありがとう」の音声ファイルがあれば、そのまま「ありがとう」を再生します。

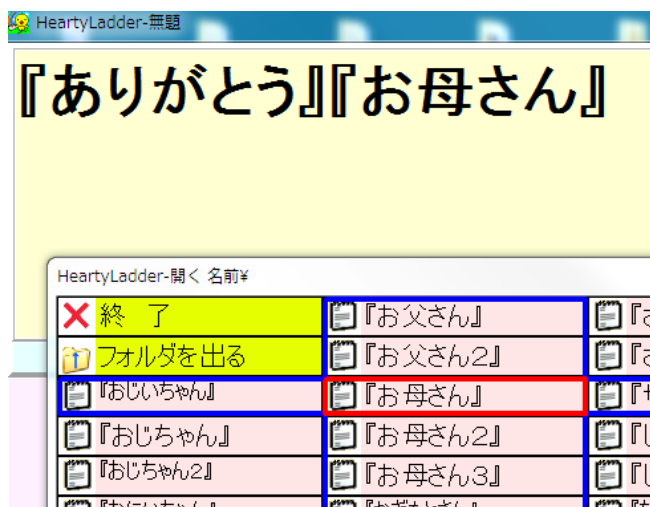
この「ありがとう」ファイルは、「ありがとう」という単語で録音したものをそのまま再生します。

ハーティラダーでは以下のようになります。



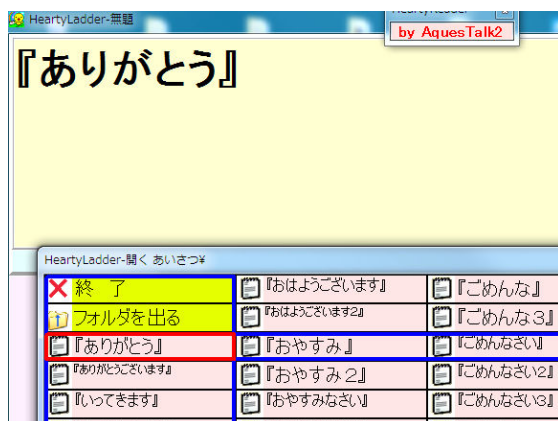
読み上げ：「ありがとう」＋「た」「な」「か」「く」「ん」

もし、「お母さん」という単語録音があれば



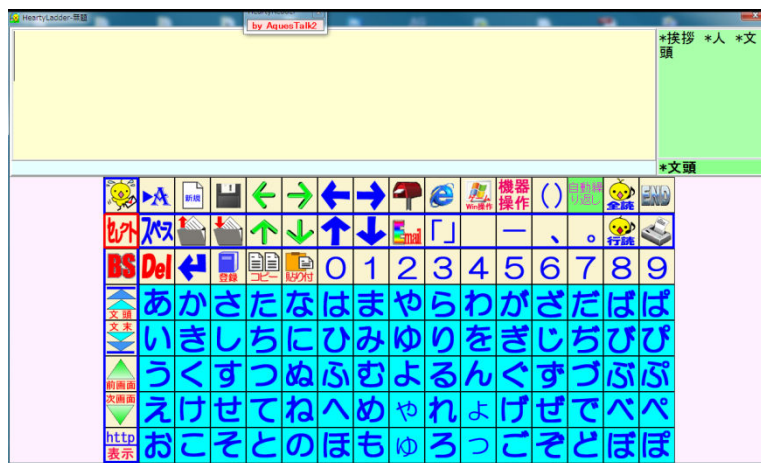
読み上げ：「ありがとう」＋「お母さん」 となります。

また、「ありがとう」も、「あ」→「り」→「か」→「と」→「う」と一字一字ずつ入力しなくても、

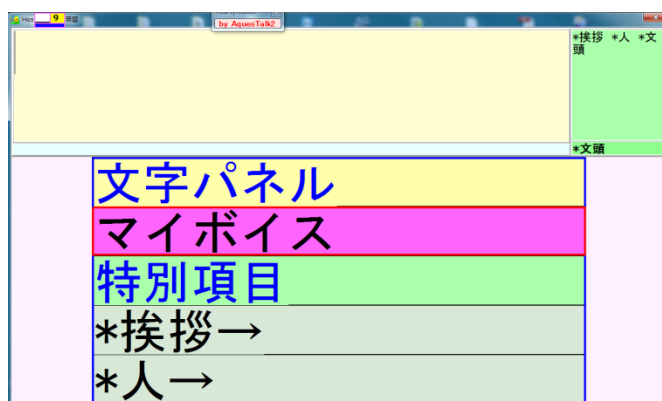


直接一覧から「ありがとう」を選んで入力することができます。

そのための手順をはじめからお示しすると

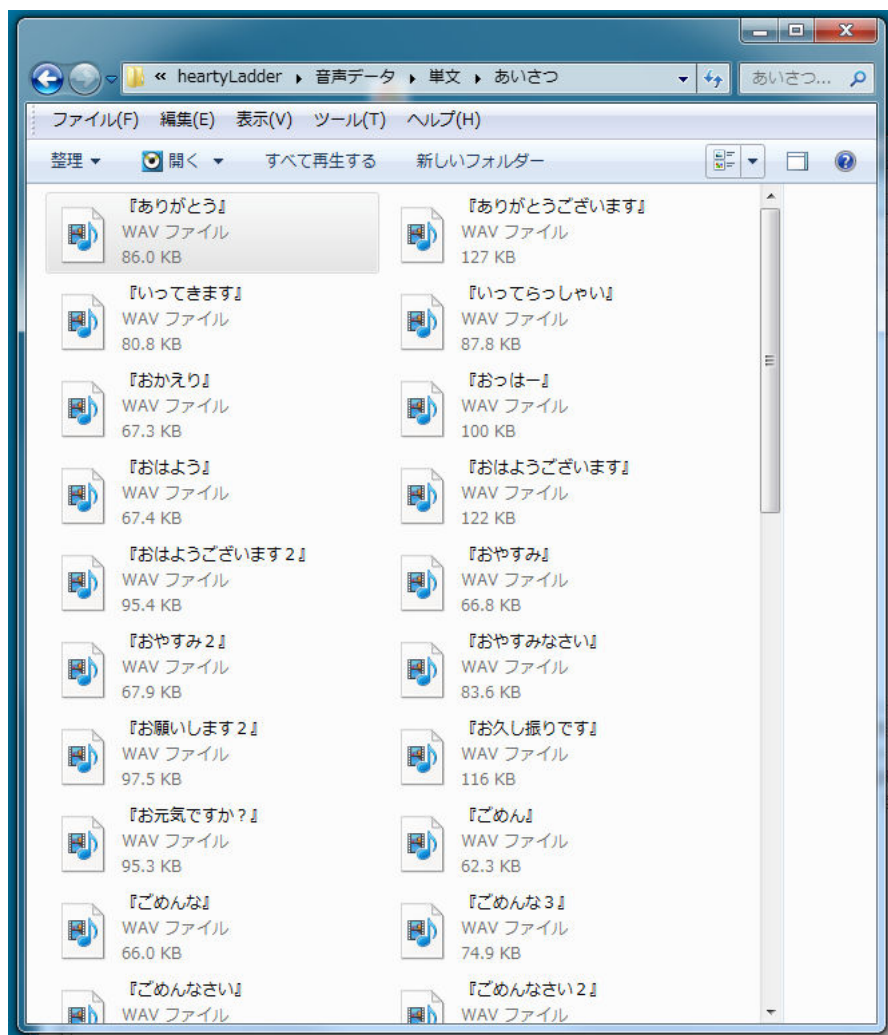


まず「セレクト」を選びます。



ピンクのマイボイスを選ぶと「ありがとう」の一覧が出てきます。

もし、「ありがとう」以外に、たくさんの単文音声ファイルがあれば

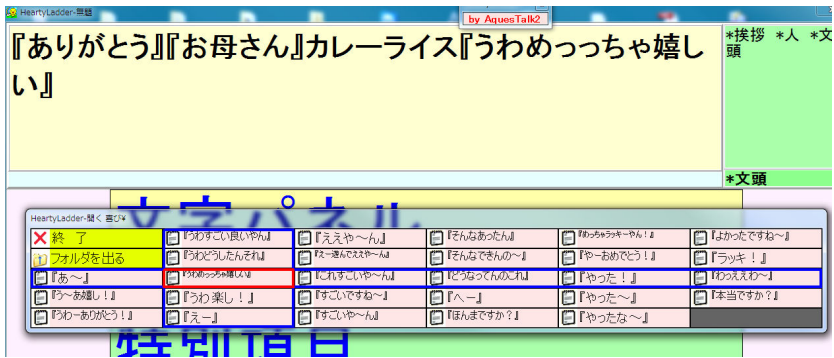


こんな感じで入っているとして

HeartyLadder では、
「ありがとう」の他にも単文がたくさんあるとこうなります。(選びやすい)



単文がたくさんある場合は、単文音声ファイルをフォルダを作っておけて保存しておけば、
表もカテゴリー別で自動整理してくれます。



「ありがとう」「お母さん」「か」「れ」「ー」「ら」「い」「す」「うわめっっちゃ嬉しい」

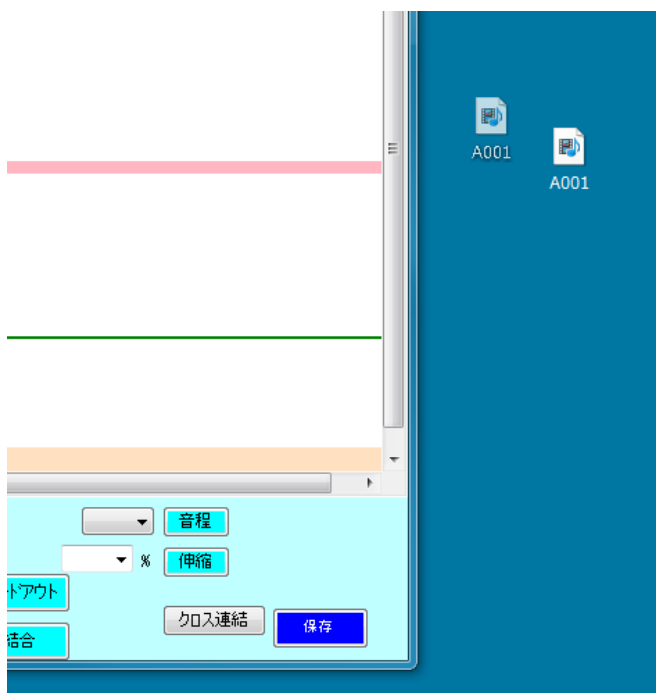
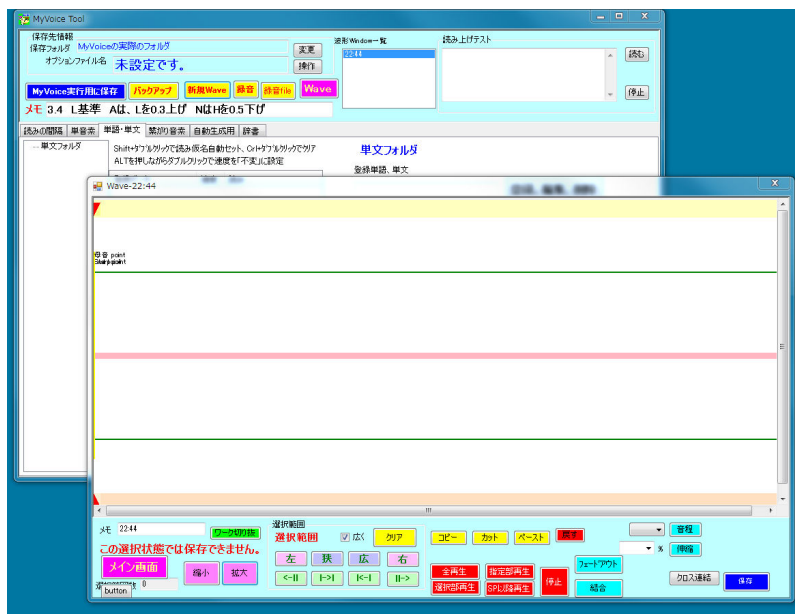
「単文ファイル」を HeartyLadder で 使えるように保存するには

まず、IC レコーダーで「ありがとう」を録音します。（「録音のしかた」参照）
次に、それをパソコンに移します（ここでは「ありがとう」という声が出るファイルを A001
とします）

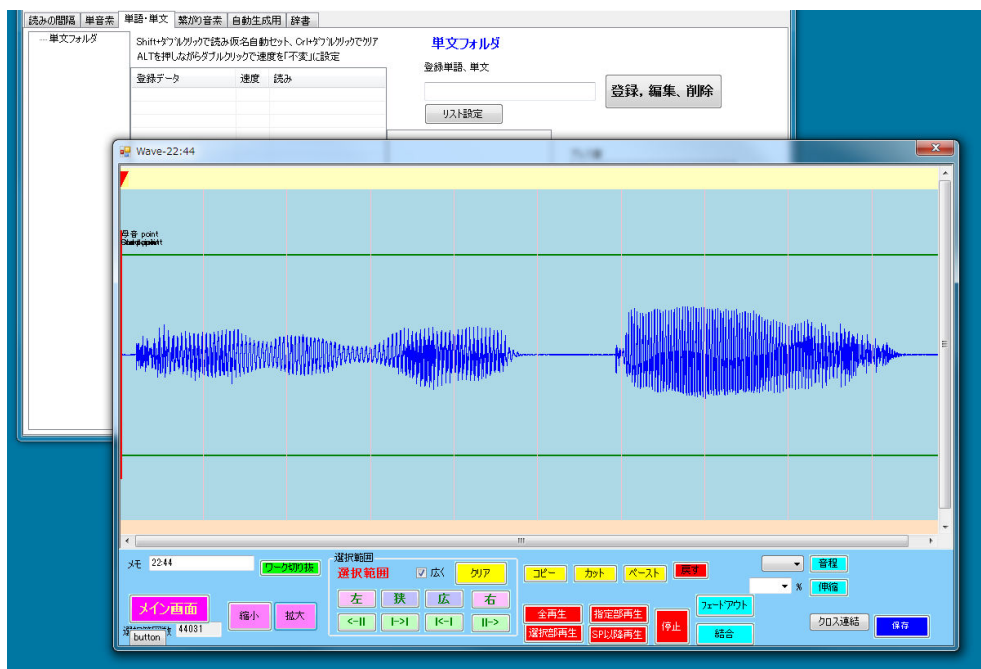
デスクトップのアイコン「マイボイスの音素編集」をクリックします。
次に「単語・単文」タブを開きます。



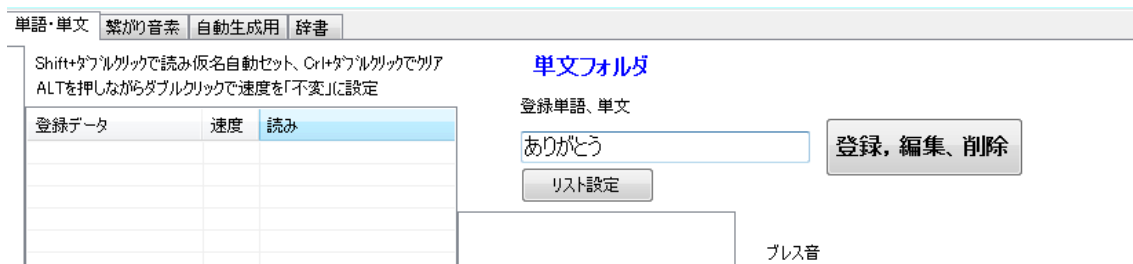
新規 Wave をクリックすると、白い窓が現れます。



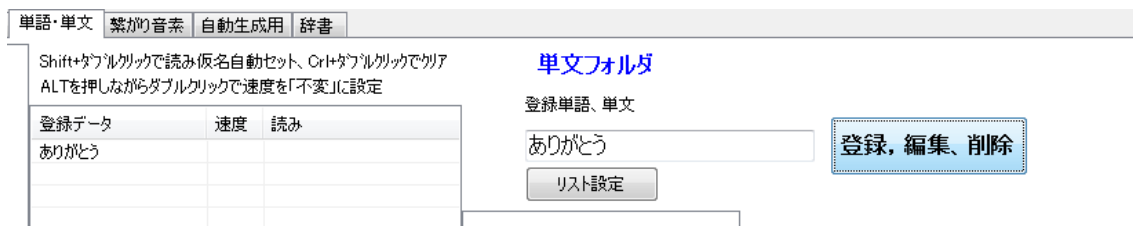
「ありがとう」の音声が入った A001 ファイルを新規 Wave の窓へドラッグします。



すると、「ありがとう」の波形が出てきます。
必要に応じて、ここで波形の位置や、声の大きさなどを調節します。



ここで「ありがとう」を入力して「登録、編集、削除」ボタンをクリックします。

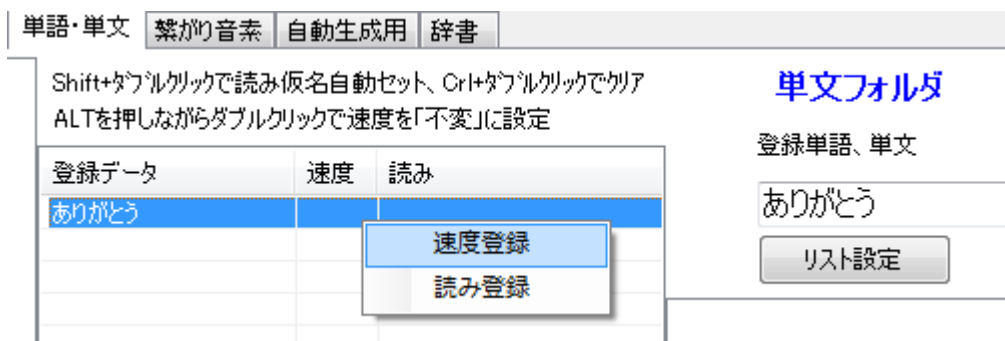


登録データの下に「ありがとう」が現れます。

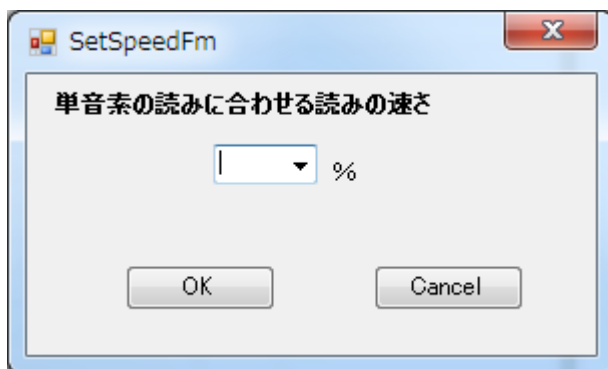
<上級者向け説明>

「ありがとう」の速度と読みの調整（マイボイスの読み上げに合うように）

速度の下を「右クリック」



速度登録をクリック



ここで 150 を入れる（1.5 倍ゆっくり）

「読み登録」をクリックすると

単文読み設定

ありがとう

単音素の読みに合わせて読むの速さ

読み仮名の設定

通常は登録する必要はありません。文末など、繋がりをよくしたい時、アクセント付記号文字列を入れて下さい。

ここにアクセント付記号文字列に変換したい文字列を入れてください。

ありがとう

登録する読み仮名

←アクセント記号付き文字列生成

クリア

登録 Cancel

が出てくる。そこで「アクセント記号付き文字列生成クリック」すると

単文読み設定

ありがとう

単音素の読みに合わせて読むの速さ

読み仮名の設定

通常は登録する必要はありません。文末など、繋がりをよくしたい時、アクセント付記号文字列を入れて下さい。

ここにアクセント付記号文字列に変換したい文字列を入れてください。

あり'がとー'

←アクセント記号付き文字列生成

クリア

登録 Cancel

ここで、必要に応じて「登録する読み仮名」を手直しする。

「ありがとう」がゆっくり読み（150%）で、「あり' がとー」で登録されました。

単語・単文

繋がり音素

自動生成用

辞書

Shift+ダブルクリックで読み仮名自動セット、Ctrl+ダブルクリックでクリア
ALTを押しながらダブルクリックで速度を「150」に設定

| 登録データ | 速度 | 読み |
|-------|-----|---------|
| ありがとう | 150 | あり' がとー |
| | | |
| | | |
| | | |

単文フォルダ

登録単語、単文

ありがとう

リスト設定

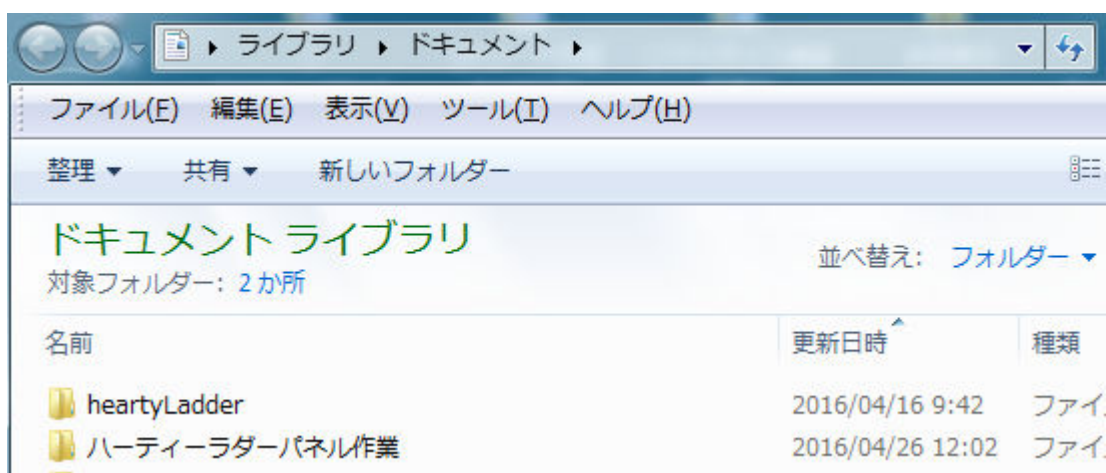
豆知識

従来は、入力された文字列と、単文音声ファイル名が「一致」する場所で、その単文音声
が再生されていました。

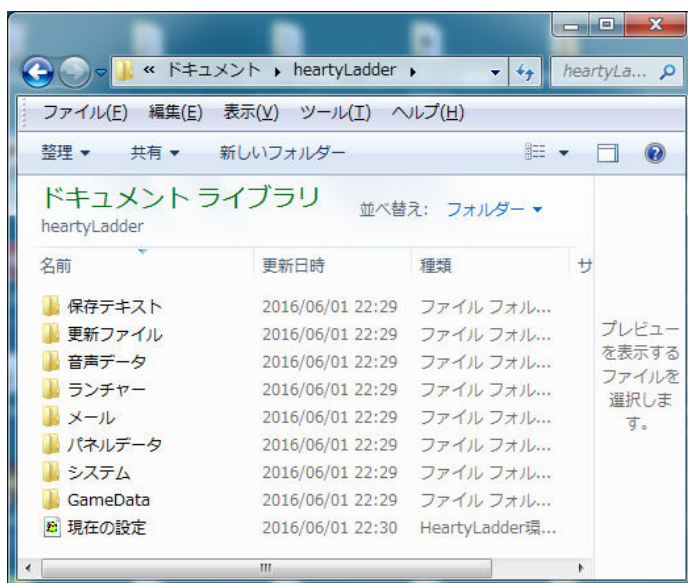
これらは、「読み」が「読み仮名（アクセント記号付きの文字列）」で登録されますから、
読み上げ文が、このアクセント記号付きの文字列と一致した場所でのみ、この単文が使わ
れます（すなわち、入力された文字列が一致していても、アクセントが一致しない場合は
そこではこの単文音声ファイルは再生されません）

<理解を深めるために> 「ありがとう」単文音声ファイルが実際 はどこにあるのか？

ドキュメントの中の heartyLadder をクリック



heartyLadder フォルダをクリック

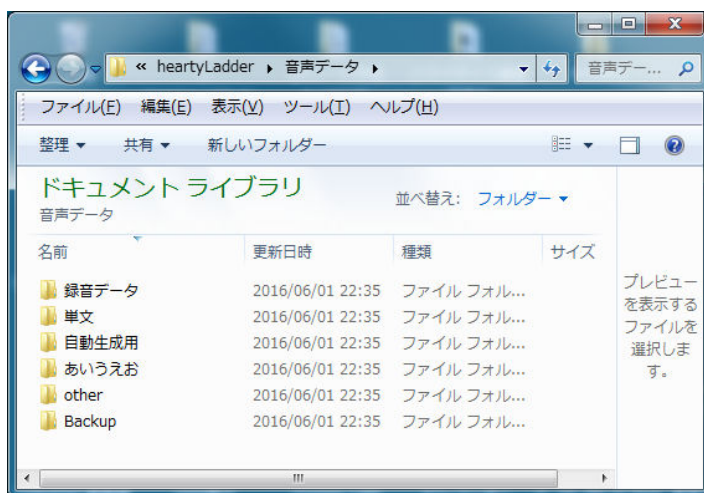


「音声データ」フォルダをクリック



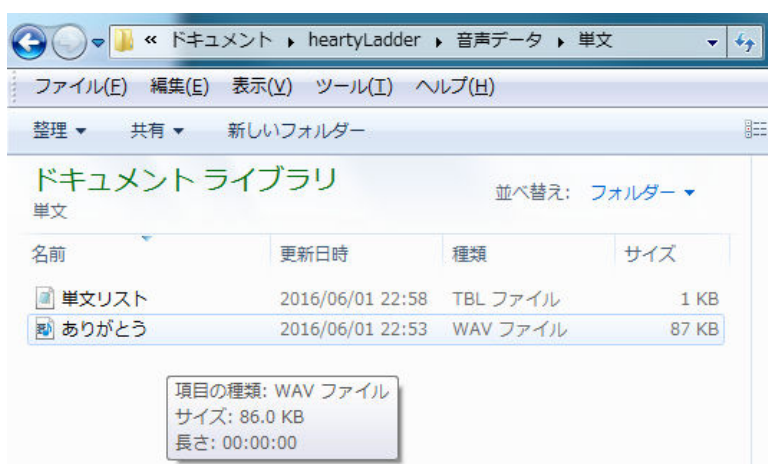
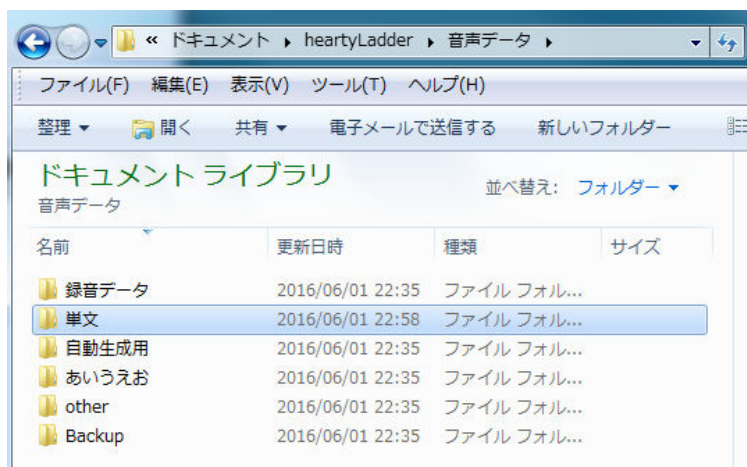
マイボイスが入っていない場合

マイボイスが入っていると（一度でも、音素編集でこのフォルダを対象とすると）

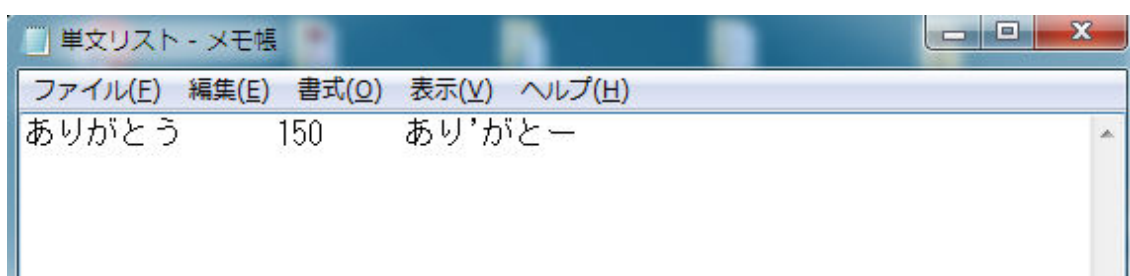


中にフォルダが見えます。

単文フォルダをクリックすると。



「ありがとう」ファイルがありました。ちなみに、単文リストのなかみは



「ありがとう」ファイルの読みの長さと、読み上げる場所のアクセント記号付き文字列が登録されています。